

# 令和6年度EV充電インフラ整備適地調査業務報告書（概要版）

---

徳島県 生活環境部 サステナブル社会推進課

県では、令和6年3月に「徳島県GX推進計画」を策定し、脱炭素化を加速する重点施策のひとつとして、「ゼロカーボン・ドライブ」を掲げている。

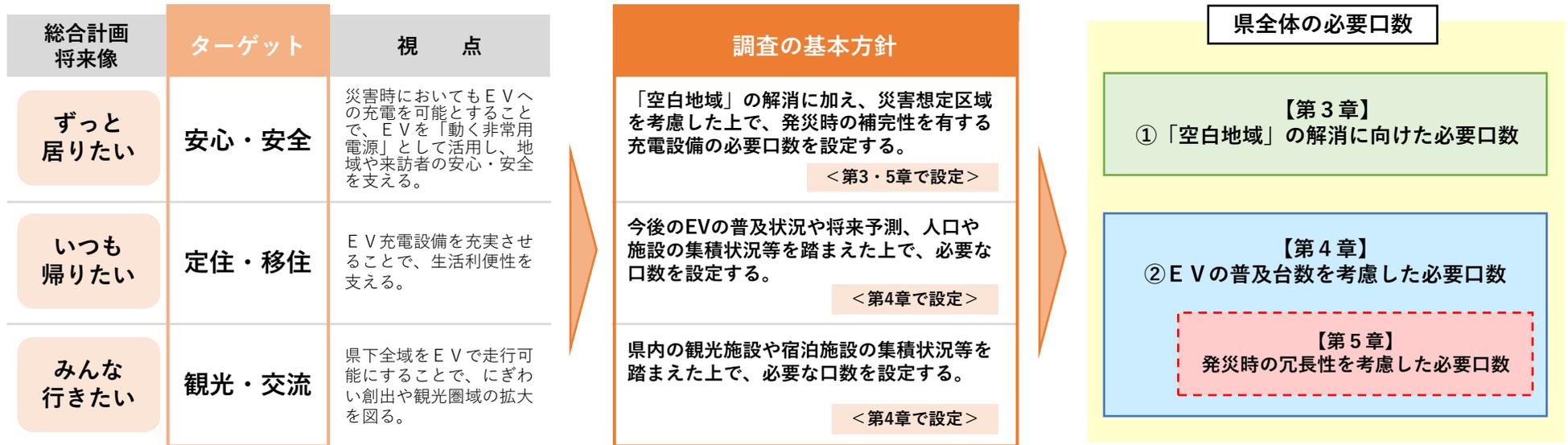
本調査業務は、EV充電設備を導入する適地調査を実施することで、地域特性や災害を考慮し、県内の特徴を多角的に分析した効率的かつ効果的なEV充電設備を促進することを目的とする。

## 第2章 本調査の基本方針

### (1) 調査の基本方針の設定

目標を実現するには、県民が一丸となって進めていく必要があるため、県政運営の指針となる最上位計画「徳島新未来創生総合計画」に掲げる目指すべき将来像を「調査の基本方針」として設定し、県内のEV充電設備の必要口数及び適地を調査する。

なお、必要口数の算出にあたっては、①「空白地域」の解消及び②EVの普及予測や発災時の冗長性を考慮の上、検討を行う。



### (2) EV充電設備の種類

今回対象とするEV充電設備の種類は、急速充電設備と普通充電設備とする。各設備の概要は下記のとおり。

- ・普通充電設備（出力：10kW未満）…充電時間は長時間（数時間～半日）。設置費用は安い。
- ・急速充電設備（出力：～150kW）…充電時間は短時間（概ね30分程度）。設置費用は高い。

### (3) 地域単位の考え方

地域の単位は、まちづくりの基礎の単位の1つである小学校区域（徳島県総合地図提供システムの小学校区域と同等）とする。

## (1) 空白地域の分析

- ・隣接する急速充電設備までの距離が概ね40km以上となる「空白地域」のエリアを調査
- ・下記条件により調査を実施したところ、国道438号（剣山）、国道195号（那賀町）付近で急速充電設備の空白地域が存在

### 調査条件

- ①蓄電容量20kWhの軽EV(対象車両の航続可能距離約180km)
- ②満充電から20%（36km）消費する範囲
- ③車幅・車高・車両重量・定格出力・バッテリー容量を基にプロップデータ（位置・速度・加速度）から得た情報も考慮して消費量を算出
- ④夏・冬を考慮しエアコンを使用した場合を想定

## (2) 空白地域の解消に向けた充電口数の算出結果

- ・空白地域解消に向けた急速充電設備設置候補箇所の抽出条件を設定⇒11か所

### 抽出条件

距離	隣接充電設備からの距離が36km以内
電気の消費	調査条件の③・④と同じ
既存充電設備の周辺環境	以下の項目を考慮の上、抽出 <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通の接続性、集落、施設の存在</li> <li>・航続可能範囲の充足状況</li> <li>・災害時対応として近隣市町村から到達可能</li> </ul>

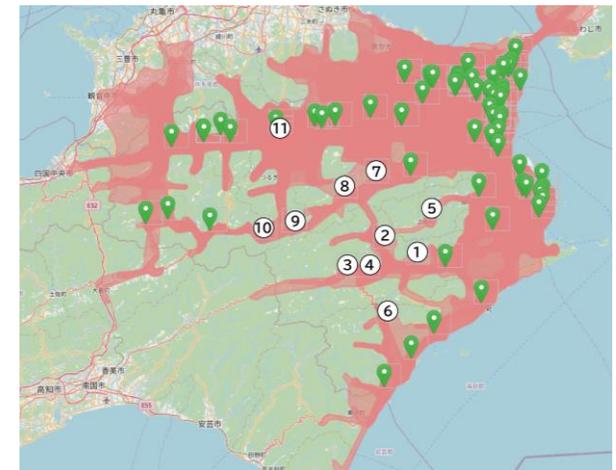
番号	エリア
①	那賀町小浜エリア
②	那賀町木頭前田エリア
③	那賀町木頭出原エリア
④	那賀町海川エリア
⑤	上勝町福原下横峰エリア
⑥	海陽町小川エリア

番号	エリア
⑦	神山町上分川又西エリア
⑧	美馬市木屋平川井エリア
⑨	三好市東祖谷菅生エリア 1
⑩	三好市東祖谷菅生エリア 2
⑪	つるぎ町貞光エリア



急速充電設備からの航続距離と空白地域  
 ※緑ピンが既存の急速充電設備設置箇所（参照：GoGoEV）  
 赤塗が航続可能範囲

### 空白地域解消に向けた設置候補箇所の選定



空白地域解消に向けた新規充電設備設置候補地点  
 ※①～⑪が新規充電設備設置候補地点、赤塗が航続可能範囲

## (1) 今後のEV販売台数の推移を考慮した必要口数

- ・ 2030年の全国のPHV・EVの販売台数は2023年比で「約10倍」になると予測
- ・ 2023年のPHV・EVの販売台数の増加率は全国が対前年比「約146%増」、徳島県が対前年比「約157%増」
- ・ 2030年の徳島県内のPHV・EVの販売台数は、直近の販売台数の伸びや人口推計を考慮し、「約10倍」になると予測
- ・ 徳島県内の販売台数を考慮の上、現在のEV 1台あたりの充電口数を確保するためには、2030年時点で「2,070口」必要

全国及び徳島県のEV販売台数の実績と予測 (台)

	種類	【実績】 2022	【実績】 2023	【実績】 2024	2025	2026	2027	2028	2030	2023比
全 国	PHV	37,722	52,143	43,132	96,000	124,000	155,000	177,000	219,000	420%
	EV(軽含)	60,396	91,307	64,287	185,000	306,000	426,000	647,000	1,227,000	1,343%
	合計	98,118	143,450	107,419	281,000	430,000	581,000	824,000	1,446,000	1008%
	対前年比	—	146%	75%	262%	153%	135%	142%	175%	—
徳 島 県	PHV	160	276							
	EV(軽含)	317	473							
	合計	477	749						7,490	1013%
	対前年比	—	157%							

・ 全国と徳島県の対前年比  
・ 徳島県の人口推計 } を考慮

7,490 1013%  
約10倍

徳島県のEV充電口数の現状と予測

	PHV + EV 販売台数 (台)		EV充電口数 (口)			
	台数	対年比	急速充電 口数	普通充電 口数	合計口数	対年比
2023年	749	—	72	135	207	—
2030年	7,490	約10倍	207	1,863	2,070	約10倍

(出典) 一般社団法人全国軽自動車協会連合会からの提供データ(徳島県)、一般社団法人日本自動車販売協会連合会「燃料別メーカー別台数(乗用車)」、一般社団法人全国軽自動車協会連合会「軽四輪車通称別別新車販売確報」、株式会社プランニング、株式会社SG総研、株式会社企画、株式会社SGM研究所「2024年版電気自動車関連市場の最新動向と将来予測」

## (2) 地域への配分方法及び算出結果

<地域単位> 小学校区域

<指標設定> 第2章で示した基本方針に加え、国指針も考慮の上、  
「安心・安全」「定住・移住」「観光・交流」のターゲットごとに地域指標を設定

<配分方法> 指標から各小学校区域における得点率を算出し、前項で算出した充電口数を配分

(ターゲットごとの地域指標)

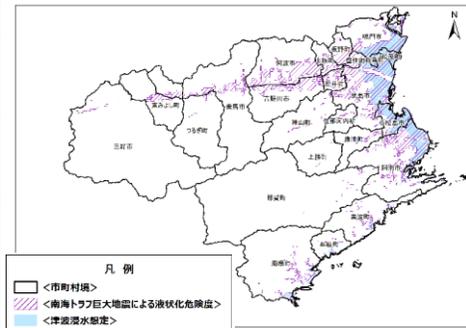
安心・安全	定住・移住	観光・交流
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道の駅</li> <li>・ 緊急輸送道路</li> <li>・ 指定避難所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口</li> <li>・ 大型商業施設</li> <li>・ コンビニ</li> <li>・ S S(ガソリンスタンド)</li> <li>・ 自動車ディーラー</li> <li>・ 道路実延長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光施設</li> <li>・ 観光客</li> <li>・ 宿泊施設</li> </ul>

市町村コード	市町村名	急速(口)	普通(口)	合計(口)
362018	徳島市	43	396	439
362026	鳴門市	18	195	213
362034	小松島市	12	108	120
362042	阿南市	23	196	219
362051	吉野川市	14	105	119
362069	阿波市	13	102	115
362077	美馬市	11	96	107
362085	三好市	15	140	155
363014	勝勝町	2	21	23
363022	上勝町	1	11	12
363219	佐那河内村	1	10	11
363413	石井町	7	59	66
363421	神山町	1	14	15

市町村コード	市町村名	急速(口)	普通(口)	合計(口)
363685	那賀町	3	37	40
363839	牟岐町	2	13	15
363871	美波町	3	33	36
363880	海陽町	3	30	33
364011	松茂町	4	35	39
364029	北島町	5	39	44
364037	藍住町	6	54	60
364045	板野町	6	43	49
364053	上板町	4	37	41
364681	つるぎ町	4	34	38
364894	東みよし町	6	55	61
合計		207	1,863	2,070

## (1) 対象とする災害

災害種別	対象とする災害想定区域	対象とする災害ランクや区分
南海トラフ 巨大地震	津波浸水想定	想定する津波の浸水域
	南海トラフ巨大地震による液状化危険度	PL値5超（液状化の危険性が高いとされているPL値）
豪雨災害	洪水浸水想定区域	想定最大規模（1000年に1回程度）
	土砂災害警戒区域	急傾斜地の崩壊、土石流、地すべりの土砂災害警戒区域および土砂災害特別警戒区域



災害想定区域（南海トラフ巨大地震）



災害想定区域（豪雨）

出典：「国土数値情報」及び「徳島県南海トラフ巨大地震被害想定」

## (2) 発災時を考慮した設置口数の設定方法

・EV充電設備の種別に応じて、各小学校区域ごとに災害想定区域を考慮した口数を設定

### < 急速充電設備の設定方法 >

小学校区域内の災害想定区域外に指定避難所が存在し、当該区域外に既設の「急速充電設備」が存在しない場合に「急速充電設備」を1口設置する。

### < 普通充電設備の設定方法 >

災害想定区域内の指定避難所3施設※あたり「普通充電設備」を1口設置する。

※「普通充電設備」では1日で軽EV（蓄電容量20kWh想定）を3台満充電することが可能

## (3) 設置口数の算出結果



市町村コード	市町村名	急速(口)	普通(口)	合計(口)
362018	徳島市	2	38	40
362026	鳴門市	7	42	49
362034	小松島市	1	22	23
362042	阿南市	8	47	55
362051	吉野川市	3	25	28
362069	阿波市	5	10	15
362077	美馬市	5	11	16
362085	三好市	11	12	23
363014	勝浦町	2	7	9
363022	上勝町	0	2	2
363219	佐那河内村	1	4	5
363413	石井町	1	8	9
363421	神山町	0	3	3

市町村コード	市町村名	急速(口)	普通(口)	合計(口)
363685	那賀町	0	15	15
363839	牟岐町	1	10	11
363871	美波町	2	11	13
363880	海陽町	0	1	1
364011	松茂町	0	7	7
364029	北島町	0	10	10
364037	藍住町	0	4	4
364045	板野町	2	13	15
364053	上板町	0	5	5
364681	つるぎ町	1	15	16
364894	東みよし町	1	4	5
合計		53	326	379

## (1) 必要口数のとりまとめ

前章までに算出した口数を考慮の上、下記のとおり地域ごとの必要充電口数をとりまとめる。

第3章「空白地域」の解消に向けた必要口数（急速11口）

第4章EVの普及台数を考慮した必要口数（急速207口・普通1,863口）

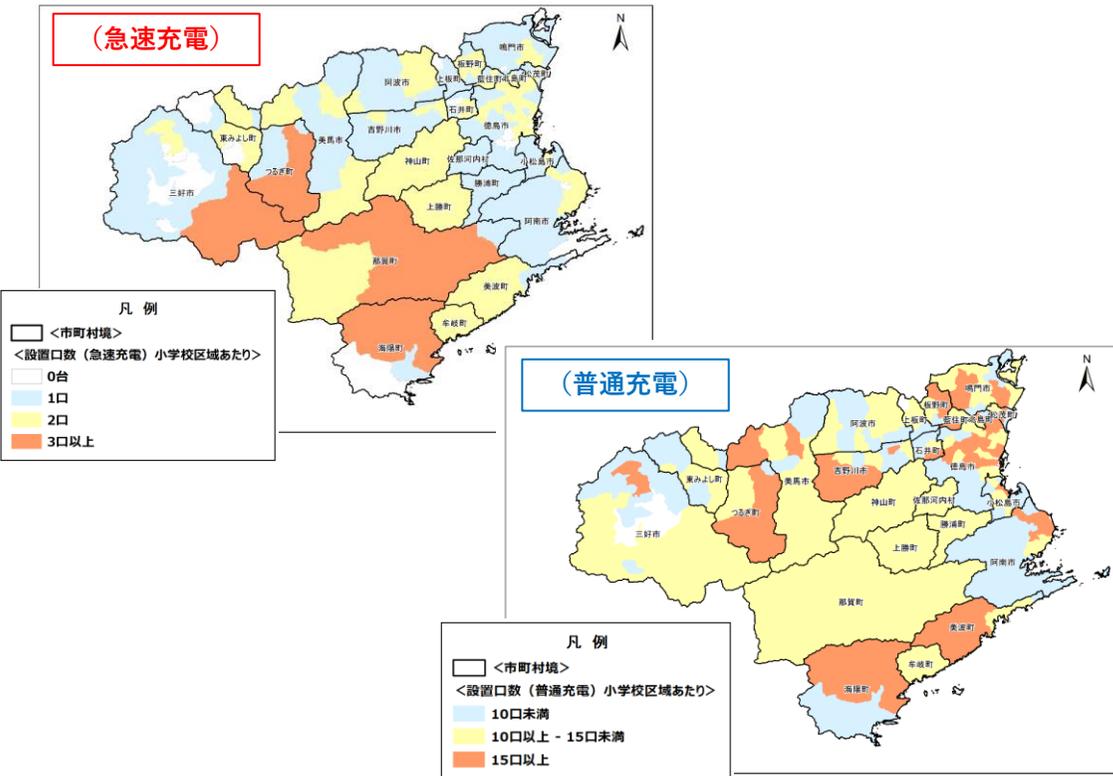
<内訳> 第5章 発災時の冗長性を考慮した必要口数（急速53口・普通326口）



県全体の必要口数  
合計2,081口  
(急速218口・普通1,863口)

## (2) 地域ごとの必要充電口数

- ・設置場所は災害想定区域外を基本とし（ただし、小学校区域全域が災害想定区域にかかる場合には、その限りでない）、発災時におけるEV充電設備の冗長性を確保する。
- ・各市町村ごとの必要充電口数は下記のとおり。（小学校区域ごとの必要口数を積み上げて算出）



市町村コード	市町村名	空白地域解消 (第3章)			普及台数 (第4章)			うち発災時 (第5章)			県全体必要口数			[参考]既存口数		
		急速	普通	合計	急速	普通	合計	急速	普通	合計	急速	普通	合計	急速	普通	合計
362018	徳島市	0	—	0	43	396	439	2	38	40	43	396	439	21	40	61
362026	鳴門市	0	—	0	18	195	213	7	42	49	18	195	213	6	17	23
362034	小松島市	0	—	0	12	108	120	1	22	23	12	108	120	2	1	3
362042	阿南市	0	—	0	23	196	219	8	47	55	23	196	219	8	17	25
362051	吉野川市	0	—	0	14	105	119	3	25	28	14	105	119	1	9	10
362069	阿波市	0	—	0	13	102	115	5	10	15	13	102	115	3	4	7
362077	美馬市	1	—	1	11	96	107	5	11	16	12	96	108	3	2	5
362085	三好市	2	—	2	15	140	155	11	12	23	17	140	157	5	11	16
363014	勝浦町	0	—	0	2	21	23	2	7	9	2	21	23	1	2	3
363022	上勝町	1	—	1	1	11	12	0	2	2	2	11	13	0	1	1
363219	佐那河内村	0	—	0	1	10	11	1	4	5	1	10	11	0	0	0
363413	石井町	0	—	0	7	59	66	1	8	9	7	59	66	0	6	6
363421	神山村	1	—	1	1	14	15	0	3	3	2	14	16	1	2	3
363685	那賀町	4	—	4	3	37	40	0	15	15	7	37	44	2	0	2
363839	牟岐町	0	—	0	2	13	15	1	10	11	2	13	15	1	0	1
363871	美波町	0	—	0	3	33	36	2	11	13	3	33	36	1	2	3
363880	海陽町	1	—	1	3	30	33	0	1	1	4	30	34	2	1	3
364011	松茂町	0	—	0	4	35	39	0	7	7	4	35	39	1	1	2
364029	北島町	0	—	0	5	39	44	0	10	10	5	39	44	2	5	7
364037	藍住町	0	—	0	6	54	60	0	4	4	6	54	60	2	5	7
364045	板野町	0	—	0	6	43	49	2	13	15	6	43	49	4	4	8
364053	上板町	0	—	0	4	37	41	0	5	5	4	37	41	2	0	2
364681	つるぎ町	1	—	1	4	34	38	1	15	16	5	34	39	1	1	2
364894	東みよし町	0	—	0	6	55	61	1	4	5	6	55	61	3	4	7
	合計	11	—	11	207	1,863	2,070	53	326	379	218	1,863	2,081	72	135	207

# <参考資料> 充電インフラ整備拡大に向けた検討

## (1) 関係機関へのアンケート調査

### ①市町村向けアンケート

<目的> 効率的かつ効果的な充電インフラ整備を促進していくための検討材料として、導入状況や今後の計画、意向等を把握する。

<実施期間> 2025年1月31日～2025年2月20日 <回収率> 100%

<設問>

設問1) 回答者の情報

設問3) 一般に開放するEV充電設備の導入予定

設問5) EV導入補助・EV充電設備導入補助の実施状況

設問7) EV充電設備の整備の意向

設問9) 庁内関係者に納得されやすいEV充電設備の導入テーマ

設問11) 自由意見

設問2) 自治体で設置した一般に開放しているEV充電設備の整備口数や撤去予定

設問4) 公用車へのEV導入状況・予定

設問6) EV充電設備の整備促進に関する理解度や検討状況

設問8) 公共施設等へのEV充電設備の導入が進まない理由

設問10) EV充電設備を整備する上で県に期待すること

### <主な回答結果 [n=24]>

#### <設問6> EV充電設備の理解度や検討状況[選択肢ごと回答]

国及び県の指針を知っている市町村はそれぞれ約半数程度。

選択肢	回答数・率
① 経産省の「充電インフラ整備促進に向けた指針」を知っている	12 50.0%
② 県の「EV充電インフラ整備促進に向けた指針」を知っている	11 45.8%
③ EV充電設備の導入に関する業者が営業に来ている	13 54.2%
④ 貴市町村内でEV充電設備の導入に向けた検討が進んでいる	4 16.7%
⑤ 「初期費用・維持費用」がかからないモデルを知っている	10 41.7%
⑥ 地域や地元事業者からEV充電設備の導入について相談がある	1 4.2%

#### <設問8> 導入が進まない理由[複数選択]

予算、場所検討、人手ノウハウ不足が多い。

選択肢	回答数・率
① 導入のための予算確保が難しい	18 75.0%
③ 設置場所の検討が難しい	14 58.3%
⑤ 人手が不足している	14 58.3%
⑦ ノウハウがない・少ない	14 58.3%
② 維持管理コストが高い	12 50.0%
⑥ 他の事業に比べて優先度が低い	11 45.8%
④ 指定管理者との調整が難しい	4 16.7%
⑧ その他	2 8.3%

#### <設問10> 県に期待すること[複数選択]

勉強会開催や事例紹介が多い。

選択肢	回答数・率
① 導入に向けた勉強会の開催	12 50.0%
③ 導入事例紹介	12 50.0%
④ 充電インフラ整備事業者の紹介	10 41.7%
② 相談窓口の設置	9 37.5%
⑤ その他	4 16.7%

### ②既設急速充電設備設置者向けアンケート

- ・回答があった35口（31施設）の今後の予定を見ると、「更新」や「更新を検討」、「維持」が合計23口、「撤去」が1口。既設の急速充電設備は今後も概ね維持されていくものと推察される。
- ・ディーラー所有の充電設備に関して、ランニングコストを考えると今後の更新が不安といった意見が見られる。

### (2) 最新の充電設備について

- ・「EV急速充電設備」については100kWを超える高出力設備が増えているが、高圧契約や高圧受電設備が必要なためコストも高い。
- ・このような中、低圧契約により高出力で充電可能な「蓄電池型急速充電設備」が市場投入されている。再エネとの親和性も高く、災害時の電力レジリエンスの向上にも期待ができる。

### (3) 充電設備の整備方法（ゼロ円モデル）

本県では、導入時の費用やランニングコストがかからない「ゼロ円モデル」を活用し、県有施設への導入を進めている。